

ヴァイオリン公開レッスン



チャイコフスキー記念モスクワ国立音楽院
(東京音楽大学 協定校) 教授

セルゲイ・クラフチェンコ Sergey Kravchenko

1965年にウクライナ・オデッサの名門ストルヤルスキー音楽学校を卒業し、その後、モスクワ音楽院に入学する。世界的なヴァイオリニスト、レオニード・コーガン教授に師事する。1969年にパガニーニ・コンクール（ジェネヴァ）で入賞し、コンサート・キャリアが始まる。その後、1971年にジャック・ティボー・コンクール（パリ）、及び、リエージュで行われた弦楽四重奏コンクールにも入賞する。ロシアと世界各地（ドイツ、ハンガリー、米国、オーストリア、ポーランド、イタリア、日本、台湾、韓国、ブラジル、メキシコ、ブルガリア、フランス、スペイン、ベルギー、フィンランド、イスラエル、オーストラリア、他。）でコンサートツアーを行う。1972年からチャイコフスキー記念モスクワ国立音楽院でレオニード・コーガンのアシスタントとしてキャリアをスタートし、その後、教授を務める。1996年から2001年まで、弦楽器科長を務める。チャイコフスキー・コンクール、青年のためのチャイコフスキー・コンクール、ブラームス・コンクールなど多数の権威のある国際コンクールの審査員を務める。また、ヴァイオリン教本も出版し、ヴァイオリン教育に大きく貢献する。この業績を讃えられ、ロシア人民芸術家、ポーランド文化功労者の称号を授与される。

1月29日（水）17:30～20:30

会場：TCMホール

*受講生は後日発表致します。